

## ルクセンブルク経済・金融情勢（2015年10月後半）

### 1. 経済

- 2015年9月の失業率は6.7%（前月は6.9%、前年同月は7.2%）。（22日付統計局プレスリリース）
- ルクセンブルク国立研究基金（FNR）は、日本の理化学研究所と研究者交流に関する覚書を10月7日に交わしたと発表。（22日付FNRコミュニケ）
- 2015年10月の消費者信頼感指数は-1（前月は0）。（29日付中央銀行プレスリリース）
- OECDの税の透明性及び税務目的の情報交換に関するグローバル・フォーラムは、30日、国際的に同意された税務目的の透明性基準の効果的な履行に向けたルクセンブルクの堅実な取り組みを評価し、ルクセンブルクを全体評価で、同基準に「大部分は対応（largely compliant）」（注：4段階の格付けのうち2番目に良い評価。2014年は最下段の「対応していない（non-compliant）」と評価。）へと格上げしたと発表。グラメーニャ財務相は、評価結果を歓迎し、「ルクセンブルクはもはやブラックリスト上にはない。この評価は一連の立法措置や規制のみならず、我々が国際社会のパートナーらと取ってきたコミュニケーションも含むアクションプランの結果である。我々はこれからも国際レベルでの公正な競争条件（Level playing field）を擁護し、より広い方法での情報交換を支持し続ける。」とコメントした。（30日付財務省コミュニケ）

### 2. 金融

- 欧州委員会は21日、ルクセンブルクがイタリアの大手自動車会社フィアットの金融子会社（ルクセンブルク所在）に与えたタックスルーリングは違法な国家補助にあたるとする調査結果を発表した。フィアット金融子会社はルクセンブルクに対して2,000万から3,000万ユーロを納税しなくなるとの見通し。これに対し、ルクセンブルクのグラメーニャ財務相は欧州委員会の調査結果に同意できないと発表。（22日付ジュディ紙）

### 3. 政治

- クロズナー経済担当閣外相、16日、25日までの日程でルクセンブルクで開催のヨーロッパ・スペース・エキスポに出席。（16日付経済省コミュニケ）
- クロズナー経済担当閣外相、20日、ポルトガルで開催のICTカンファレンス2015に出席。（20日付経済省コミュニケ）

※当国政府機関の公表資料や各種報道等の公開情報を取りまとめたもの。